

こどもから大人まで、 発達もこころも、未来へつなぐ ～発達障害を地域で支える連携の”かたち”を問い直す～

水原 祐起 先生

みずはらクリニック 院長 / 認定NPO法人 SEEDきょうと 理事長
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 客員講師

講師プロフィール

京都府立医科大学卒業。京都府立医科大学助教、京都府心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院精神科医長、京都府精神保健福祉総合センター技師、京都府立こども発達支援センター精神科医長などを歴任し、2023年9月にみずはらクリニックを開院。ロンドン大学キングス校 摂食症臨床研究部門への留学経験あり。京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 客員講師、認定NPO法人 SEEDきょうと 理事長を兼務。専攻は児童青年精神医学、摂食症(摂食障害)。

2026 / **11 / 29 (日)** 14:00～16:15 (13:30開場)

対 象

発達障害児者支援に携わる専門職、支援者

※医療職向けとなっていますが、今回のテーマから幅広い専門職にお声かけしています

場 所

京都経済センター 会議室6-C

京都市下京区四条通東入函谷鉾町78番地

・京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」

北改札出てすぐ

・阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結



参加費

無料

定 員

90名 / 申込制(先着順)

水原先生より参加者の皆さまへメッセージ

発達障害への支援は、幼児期から成人まで、こころの揺らぎまで含めて、ひとつの職種・ひとつの機関だけで抱えきれるものではありません。とくに思春期・青年期は、目の前の困難が発達特性によるものなのか、定型発達の子どもにもみられる同じ時期の葛藤によるものなのか、“見立て”がぶれやすく、支援者ごとに判断が分かれやすい時期でもあります。だからこそ、医療・福祉・教育・行政・相談支援それぞれが現場で得た“見立て”をどのように持ち寄り、共有し、更新していくか——その“連携のかたち”を、事例や京都南部での連携のリアルを交えながら、みなさまと一緒に考える時間にできればと思っています。

申込み
方法

WEB申込みのみ

QRコード、またはURLからお申し込みください

<https://forms.gle/fadTE99wQZKKWvXn6>



※お申込み後、ご記入いただいたアドレスに回答のコピーが送信されます。

「google.com」のドメインが受信できますよう設定をお願いします。

なお、何らかの事情により、設定後も受信されない場合があります。

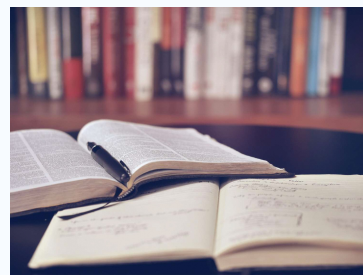
メールが届かない場合は、下記お問合せ先までご連絡をお願いいたします。

申し込み状況を確認いたします。

申込み
〆切

11/15(日)まで

※定員に達した場合、締め切り日より前に
受付を終了することがあります



申込みに
あたって

- 講演内容の録画・録音、写真撮影はご遠慮ください。
- 事務局からご連絡する場合は、ご記入いただいたメールアドレスにお送りします。
r8.habataki.senmon@gmail.comのアドレスから送信しますので、受信できますよう設定をお願いいたします。なお、このアドレスは、今年度の本研修会の事務連絡のみで使用します。
- メールでのお問い合わせの際には、件名に【はばたき専門職研修】とご記入いただきますと幸いです。
- お問合せについて、すぐにお返事できないこともありますので、ご承知おきください。
- 登録(参加申込)に際しご提供いただきました情報は、本研修会開催以外の目的では使用いたしません。



問合せ先

京都府発達障害者支援センターはばたき

〒612-8416 京都市伏見区竹田流池町120

京都府精神保健福祉総合センター内

TEL:075-644-6565

E-mail:r8.habataki.senmon@gmail.com